

最近、多くのロータリアンの皆様から次のような質問が寄せられます。今回はこのご質問についてお答えさせていただきたいと思います。

- Q. 質問 1. ポリオの撲滅活動はいつまで続くのか？**  
**2. ゲイツ財団のポリオ撲滅チャレンジ寄付に対する当地区の対応は？**  
**3. ロータリー財団の財務状況はどうなっているのか？**

**A. まず質問1と2についてです。**

ご高承の通りポリオ撲滅活動はRIの最優先事項であり、RIではポリオの撲滅が世界的に証明されるまで、新たなコーポレート・プロジェクト（大規模プロジェクト）は実行しないことが正式に決議されています。ロータリーがポリオ撲滅に立ち上がった1980年頃の症例数を100とすれば、現在は99.5%まで撲滅が到達していますが、残り0.5%を必ず撲滅できなければ、ロータリーが世界中の子供たちに約束した「ポリオフリー」の世界は訪れません。当初の目標でありましたロータリー100周年の2005年には残念ながら撲滅宣言を出せませんでした。現在、野生型のポリオウイルスが常在している国はインド、パキスタン、アフガニスタン、ナイジェリアの4カ国で、これらの国では必死の戦いが続いております。

ポリオの伝播は、他の多くの感染症のように蚊とか蠅の害虫など他の動物を介さないでヒトからヒトに感染します。このことは感染経路が特定しやすいことを示しています。いつ撲滅宣言を出せるのか、本当に100%撲滅可能なのか、私は正直なところ分かりません。しかし、ロータリーの一つの夢に向けてポリオとの戦いを継続する意義は大いにあります。

ゲイツ財団のチャレンジ寄付は当初1億ドルでしたが、本年1月の世界協議会で2億ドルになりました。世界中には約33,000のクラブがあります。RIの最初の要請は1年度ごとに各クラブ1,000ドルで3年間続けて欲しいとのことでした。これが倍の2億ドルになり、3年間で各クラブ2,000ドルになるのか、あるいは1,000ドルのまま期間を6年に延長するののかということは正式には決まっていないようです。当地区では本年度3年目になりますが、各クラブに要請させていただいた目標は昨年と同じ1,000ドルで、地区内90クラブで合計9万ドルです。地区目標が達成できない場合はDDF（地区財団活動資金）からの拠出を検討しています。

ロータリアンの皆様には、どうかポリオ撲滅活動の意義をご理解賜りますようお願い申し上げます。

**A. 次に質問3についてです。**

2008-09年度末の決算は確定しておりませんが、資金運用で損失が出ることは確実です。ロータリーの公式ウェブサイトによる財務状況は次の通りです。

2009年2月11日現在    ▲ 222百万ドル  
 4月 3日現在        ▲ 178百万ドル  
 5月31日現在        ▲ 160百万ドル

年度末に向けて徐々に損失額の改善がみられますが厳しい状況です。どのような計算でこの数字が出されているのか、そして今後の見込み、対処の方法はどうかなど詳細につきましては、現在様々な方法で情報を集めておりますので、適宜ご報告させていただきたいと思います。

毎年1月に各クラブにロータリー財団年次報告書が郵送されます。本年1月に配られた2007-08年度の報告書にも記載されていますが、ロータリー財団は2002-04年度の2年度間にわたり損失を出しました。しかし、その後の数年度間でこの損失額をはるかに上回る収益を生み出しました。アメリカに端を発した金融危機による昨今の経済情勢はかなり厳しいことは事実ですが、ロータリー財団では必死に財務状況の改善に努力するとともに、現在のシェアシステムによる資金（寄付）の運用管理方法の可否について再検討を開始したとの情報も入っております。

限られた紙面で意を尽くせませんが、ロータリアンの皆様にはどうか長い目で判断していただき、ロータリー財団を支えていただきたいと思います。（2009年7月9日記）

